

# ネイチャーセンターだより



## オジロワシ

White-tailed Sea Eagle

ワシというと、風蓮湖では、オオワシ・オジロワシの群れ集う冬の風景が有名ですが、夏でもワシが見られます。オオワシは北へ渡って行きますが、オジロワシの一部は北海道にとどまり、子育てなどをしています。

春国岱のオジロワシは今の時期、干潮時に餌を探して干潟に降りているところがよく見られます。若鳥は全体的に黒褐色ですが、成鳥になると頭が淡くなり、この羽になるには6年ほどかかっています。

また、カモやカモメが一斉に飛び立ったら、付近の空を見てみてください。オジロワシが飛んでいることがありますよ。(Y)

## 7&8月のイベント

### 海の生き物見つけに行こう①

日時 7月23日(土)  
9:30~12:30(悪天候中止)

対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)  
定員 先着20名  
持物 長靴、着替え(汚れてもよい服装)  
帽子、軍手、タオル  
申込 前日までに電話か直接センターへ

概要 春国岱周辺の海は生き物の宝箱。潮の引いた海岸で、海辺の生き物のヒミツを探りながら、こっそり隠れるヤドカリやカニたちを探してみよう。



### 海の生き物見つけに行こう②

日時 8月6日(土)  
9:30~12:30(悪天候中止)

対象 どなたでも(小学生以下は保護者同伴)  
定員 先着20名  
持物 長靴、着替え(汚れてもよい服装)  
帽子、軍手、タオル  
申込 前日までに電話か直接センターへ

概要 根室湾中部漁業共同組合にご協力いただき、春国岱の砂浜にいる貝やカニなどの生き物を探します。海の達人の話聞いてみよう!

<お申込み・お問合せ先: ネイチャーセンター>

TEL 0153-25-3047

# ラムサール条約 を知ろう! (第2回)

Q2. 「ラムサール条約」ってどんな国際的なやくそく?

A2. 国際的に重要な湿地を保護するため  
(先月号の正解は②番!)

ラムサール条約の正式名称は

「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」

世界で初めて生まれた自然保護のための国際条約です。

国際的に重要な湿地を国際間の協力で守り、利用することを目的としています。

内容は、

水鳥の生息する場所とともに、多様な生き物を育み、人々の産業となる資源や水資源としても重要な湿地(ウェットランド)を将来にわたり持続的に活用できる

賢明な利用(ワイズ・ユース)を考え、適切な保護、管理をしていくことを目的としています。

世界で144ヶ国が参加し、1401ヶ所の湿地が登録されています。

日本は、1980年に条約に加盟し、全国13ヶ所(北海道内は6ヶ所)の湿地が登録されています。

<2004年12月末現在>

左図. 日本のラムサール条約登録湿地



Q3. ラムサール条約は、水鳥の生息地である湿地を保護する条約だけど  
いったい「湿地：ウェットランド」ってどんなところのこと?

- ① 湖沼、河川、湿原、湧水地 などの内陸の水辺
- ② 水田、ダム湖、ため池 などの人工的な水辺
- ③ 干潟、マングローブ林、サンゴ礁 などの海に面した水辺

正解と解説は、次回このコーナーでお伝えします。

# 自然情報

～7～8月にこんなの見られます～



7～8月は春国岱に短い夏が訪れます。夏鳥は子育てにおわれ、花々は咲き誇ります！  
春国岱・自然学習林へ、いろいろな種類の花や鳥を探しにでかけよう！

## ハマナス

北海道の夏を代表する花、ハマナス。春国岱では長さ3kmにわたる大群落があり、歩くとその香りも楽しめます。バラの仲間なのでトゲがたくさんありますが、トゲの間は小鳥たちの子育ての場所でもあります。



コチドリ

## シギ・チドリ



ホウロクシギ

8月になると、浜辺には、シギやチドリの仲間が渡ってきます。体が大きいものから小さいもの、嘴や足が長いものから短いものまで、種類によってさまざまな体形をしています。(たくさんいるのは春国岱先端)



## アオサギ

とにかく数が多いのが、このアオサギ。時に数百羽が集まります。満潮時には風蓮湖の湖岸でたたずむ姿が、干潮時には春国岱湾で魚を狙っている姿が観察できます。風蓮湖には餌となる魚が豊富にいるのですね。



ノハナショウブ



ハマナス

## 開花

夏の花が咲き出します。ピンクのハマナス、紫のノハナショウブ・サワギキョウ、赤紫のエゾフウロ、黄色いウンラン・キツリフネ・ハチジョウナ、白いオオウバユリ・ノリウツギ。足元にも目をやってみてください。

## お知らせ

ぬかるむ所があります。長靴など汚れても良い靴で、足元に気をつけて歩いてください。蚊がたくさん発生します。虫除け対策(スプレー・長袖など)も忘れずにしてください。



# 春国岱

6月17日、朝4:30から春国岱の海側の草原を歩きながら、確認した鳥を記録していく調査を行なった。草原には小鳥達が溢れていた。

ヒバりに、シマセンニュウに、オオジュリンなど。子育ての時期を迎えた小鳥達が、自分のなわばりを主張してあちらこちらで声高く鳴き、巣立ちビナが羽根を震わせエサをねだる姿も確認された。そして、風が緩みあたたかくなってきた頃、「蚊」が姿を現した。しばらくすると、頭上で「ジュジュッ」と聞こえてきた。シヨウドウツバメが蚊を食べているようだった。春国岱は、小鳥達の子育てが盛りを迎えると共に、小鳥達のゴチソウが溢れる季節となった。...歩くときには、「蚊」への心構えと、対策も必要な季節となった。(K)

## ボランティアグループ「スंक」のご案内

「スंक」はネイチャーセンターの活動を支援、発展させるボランティアグループ。老若男女、様々な方々が活動しています。現在、以下のプロジェクトが進行中です！ご興味ある方は、ネイチャーセンターまで、ご連絡ください！！

### 「スंक」のプロジェクト

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 樹名板・オブジェ補修プロジェクト | 紙芝居プロジェクト         |
| エゾシカ食害調査プロジェクト   | 広報プロジェクト          |
| 春国岱ガイドウォークプロジェクト | ネイチャーセンター祭りプロジェクト |
- など



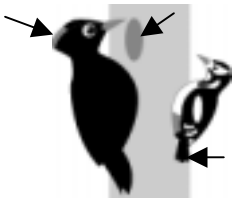
## メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。(郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。)

連絡先: [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

### まちがいがし

- 先月号のまちがいは、
- ① クマゲラの頭
  - ② 木の穴
  - ③ アカゲラの尾の形でした。



クマゲラの雄の頭は前から後ろまで赤く、雌は後頭部しか赤くありません。クマゲラは縦に長く木をつつきます。

アカゲラなどキツツキ類は体を支えて木をつつくため、尾羽の軸が硬くなっていて、足と尾で体を支えています。

## 団体向けプログラムのご案内



- 野外解説 (1~2時間 / 10~20名)
- 自然のお話 (25分 / 10~45名)
- 自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)
- タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限定させていただきます。

## 春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地  
 TEL0153-25-3047 FAX0153-25-8570  
 HP [http://www.marimo.or.jp/nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/nemu_nc/workn/index.html)  
 メール [nemu\\_nc@marimo.or.jp](mailto:nemu_nc@marimo.or.jp)

開館時間 4~9月 9:00~17:00  
 10~3月 9:00~16:30  
 7月の休館日 6・13・19・20・27日  
 8月の休館日 3・10・17・24・31日  
 2005.7 発行